



# 永久平和を願って 次世代に戦争体験を語り継ぎたい

私の戦争体験談 ⑩

秘書 広報課  
☎24-8801



建造中の戦艦大和(資料写真)

昭和14年、私は垂水  
小学校高等科2年を卒業と同時に、広島県呉市にあった「海軍工廠」に就職しました。15歳の春でした。

「海軍

工廠」とは、海軍の艦船、兵器、弾薬などの製造や修理、実験などをする施設で、旧日本海軍では、呉のほかに横須賀、佐世保、舞鶴の各軍港にありました。そこは、広大な敷地に、工場や事務所、宿舍、病院などが立ち並び、何千人の人がそれぞれの部署に分かれて働きながら暮らしていました。私は、火口部、

## 「呉」で機銃掃射を受け 同級生は「特攻隊」に散る

垂水町 江戸 秀信さん

後に会計部に属して主に事務的な仕事をしていました。入所当時は、真珠湾攻撃の2年前だったので、敵機が飛来するようなことは無く、平和な時間が流れていたように思います。しかし、中国とは戦争中。ヨーロッパではファシズムの台頭によって確実に軍靴の音が響いて来ていました。

ができて日本は孤立状態になりました。そして、ついに12月8日、アメリカの太平洋艦隊の基地、ハワイ真珠湾を奇襲、太平洋戦争に突入しました。開戦以来快進撃を続けていた日本軍は、1942年6月のミッドウェイ海戦で完敗して形勢逆転。日本軍が進出していた南方の島々に輸送は断たれ、援軍を送れず敗退、玉砕が相次ぎ多くの兵士が飢えと病にあえぎながら死んでいきました。しかし、そのような事実も、国民には知らされず、「進め一億火の玉だ」「欲しがりません勝つまでは」などのスローガンに踊らされ「戦争」という泥沼に入り込んで行きました。

全長約260m、山のような巨大な船が瀬戸内海に浮かぶ姿は圧巻でした。1940年8月8日、日米開戦の1年4か月前のことでした。1941年7月、日本は南方の石油などの資源を求めて、仏領インドシナ(現在のベトナム)に進出すると、すぐアメリカは石油の対日全面禁輸を実施。イギリス、オランダもこれに追随し、いわゆる「ABC包囲網」



支那事变従軍の記念の徳利と盃  
(提供:平和祈念展示資料館)

1942年の「帝都初空襲」(東京への初めての空襲)そして、全国の主要都市が焼け野原になった日本本土空襲は、1944年から始まりました。

呉軍港への空襲は1945年の春から何回もあって、多くの戦死者がでました。軍港への爆撃は焼夷弾ではなく、爆裂する爆弾で多くの人が犠牲になり、戦艦や空母、巡洋艦、潜水艦が沈み甚大な被害を受けました。また、呉海軍工廠への空襲は5月5日、B29の大編隊290機による空襲で、およそ1900人が亡くなり、工廠施設のほとんどが破壊されました。

いかけられました。彼らは、上空でエンジンを切つて滑空するの、突然無音のまま地上近くまで急降下して来て、私たちに襲いかかってきました。そのときの恐ろしさは、今も忘れられません。

終戦で、古里の丸亀に帰り同年代の消息を聞いても、悲しい知らせばかりでした。同級生の中には、少年航空兵に志願した者もいました。彼らは全員、燃料片道で行ったきり帰って来ませんでした。(特攻隊)「運よく生きて帰れた自分はいませんでした」と涙を流したこともありました。

今、世界を見渡しますと、戦乱の中、市民が逃げ惑い、子ども



燃料片道で多くの若者が散った(資料写真)

もたちが犠牲になっている現実を直視し、戦争の悲惨さ、平和の尊さを学び伝えなければいけないと思えました。ご近所のM

# 大雨などの 災害に備えよう

— 防災情報メールの登録も —

危機管理課 ☎25-4006

災害はいつ発生するか予測できません。梅雨や台風などの水害の起こりやすい時期に備え、事前に防災グッズなどを準備しておくことが大切です。また、お住まいの場所が洪水や土砂災害の恐れがあるか、あらかじめ確認しておきましょう。

## 日常の備え

- 洪水ハザードマップ(市役所案内所や市民総合センターなどでお渡ししています)で、危険性の高い場所や避難場所を確認しておきましょう。
- 災害時の避難場所や連絡方法などを家族で話し合い、お互いに知っておきましょう。

## 災害時の行動

- テレビなどの情報に注意し、避難勧告発令時には、直ちに行動できるようにしましょう。
- 夜間を避け、明るいうちに避難するなど、安全な避難を心掛けましょう。
- 緊急の場合には、頑丈な建物の2階以上に避難するなど、状況に応じた避難をしましょう。

## 事前に防災に関する情報の 入手準備を

- 災害や避難に関する情報は県や本市ホームページで入手できるので、事前に確認しましょう。
- 防災情報メールの事前登録をすれば、気象情報や避難勧告などの情報が配信されます。



防災情報メール

さんからの誘いもあり、市役所の広報係の人にお話しをして文章にしてみました。なにぶん、高齢ですので、記憶も定かでないところもありますが、「次世代に過去の過ちを二度と起こしてほしくない」という一念で、心を込めてお話しさせていただきました。(聞き手:広報担当 中年明)

### 用語の説明

玉砕 日本軍が発表した言葉。部隊の全滅の意味。援軍や補給ができないまま「見殺し」にしてしまったと軍司令部への責任論回避のため、玉が美しく砕けるように潔い死を印象付けた。  
特攻隊 特別攻撃隊の略。爆弾などを搭載した飛行機、高速艇、潜水艇などで体当たりする決死部隊。